

CCAテストの必要性!

年数経過と共に、バッテリー内部のサルフェーションや電極板の劣化によってバッテリー性能が低下します。今までの測定方法では"要交換"バッテリーでも、走行直後に測定すると"良好"と判断されてしまう場合があります。これは、走行中の発電により、走行直後のバッテリー電圧は"良好"のケースがあるのです。いわば見せかけの電圧です。しかし、劣化しているバッテリーは充電・放電可能な極板面積が減少しているためバッテリー容量&CCA値は低下しています。そこで、CCA値を計測してバッテリーの良否を判断します。

CCAとは?

コールドクランキングアンペアーの略で、鉛バッテリーが持つ固有の「性能基準値」です。エンジン始動性能を表す尺度で、 $-18^{\circ}\text{C}\pm 1^{\circ}\text{C}$ の温度で放電し、30秒目電圧が7.2V以上となるように定められた放電電流(A)アンペアーのこと。CCA値が大きいほど始動性能が高い(エンジンがかかりやすい)ことを示します。

CCAでバッテリー診断をする利点

- ① バッテリーの突然死を回避できる。
- ② 見せかけの電圧に左右されない為、正確な測定ができる
- ③ バッテリーに大きな負荷を与えない。
- ④ テスターが熱を持たない(負荷が小さい)。
- ⑤ 電気伝導による診断のため、サルフェーションなどによる劣化を確実に判断できる。
(劣化により電気抵抗が増えるため)

今までのバッテリーテスターの欠点

現在の国内のバッテリーテスターはロードテスターによる測定が主流です。

これはテストするバッテリーに大量の電流を与え、放電した後の電圧を測定する方法です。

- ① 測定時の状態で測定結果にバラつきがある。
- ② 大電流を流すためバッテリーの負荷が大きい
- ③ 劣化したバッテリーでも走行中、発電機により充電された直後にテストをして「良好」と診断される場合がある

仕様:

測定項目:6V & 12Vバッテリーテスト 12V & 24V 充電始動システムテスト

* 大型車の24Vシステムの場合12Vバッテリーの単体の測定となります。

測定バッテリー範囲: 40~2000CCA (SAE) 測定バッテリー種類: SLI/VRLA/GEL/AGMフラット/AGMスパイラル

測定バッテリー規格 JIS, SAE, DIN, EN, IEC 最低測定可能電圧: 1.5V

電圧測定範囲 1.5V~30V ディスプレイ バックライト付き、2行/8文字 LCD (明度調節可能)、漢字表記

感熱プリンター 内蔵 プリンター用紙 30m ロール紙

ケーブル長さ 180cm 言語: 8 言語: 日本語etc

日時/時間付 本体寸法 L251×W130×H64(mm) 重量 850g

注意: ハイブリット車のバッテリーには対応していません。